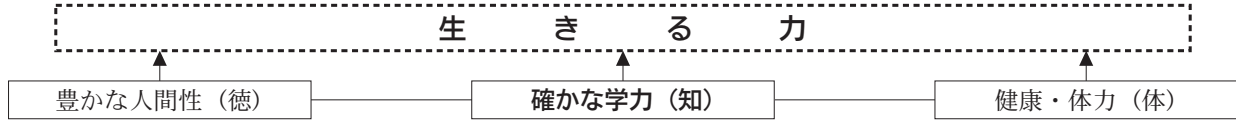


平成26年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

小学校、中学校ともにいずれの教科でも、平均正答率が全国平均以上です。

奥尻町教育委員会では、学校の設置管理者としての説明責任を果たし、今後の施策の改善につなげていくことが大切であることから、上記標題の調査（平成26年4月22日実施）について、学校名や個人名が特定されない範囲で結果を公表することとしました。

新しい学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」をよりいっそう育むことを目指しています。



- * 「生きる力」を、「知・徳・体」のバランスのとれた力としてとらえ、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切です。
- * 教育委員会や学校では、今日求められている学力を、知識・技能はもとより、思考力や判断力、表現力、学ぶ意欲などを含めた学力ととらえています。
- * 今回の調査結果は、こうした学力の特定の一部分の結果であることに留意してください。
- * 「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、ご家庭や地域など町全体で子どもたちの教育に取り組むことが重要です。

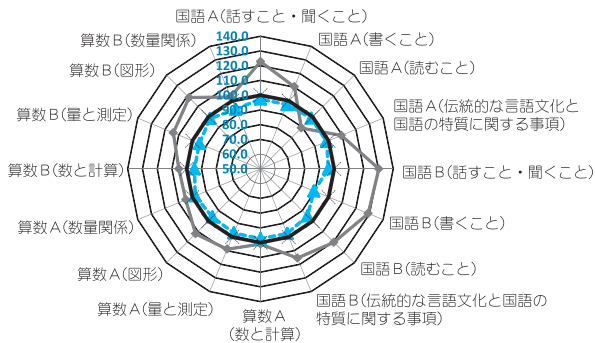
■奥尻町内小中学校の状況及び学力向上策（学校数：小学校2校・6年生18名、中学校2校・3年生24名）

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び奥尻町の状況をレーダーチャートで示したものを（町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

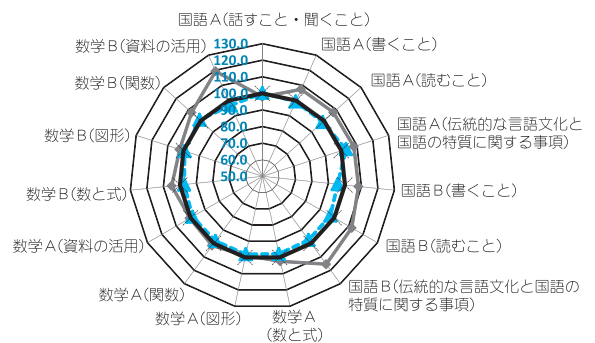
小学校

● H26奥尻町内小学校 ▲ H26北海道(公立) ✖ 全国(公立)

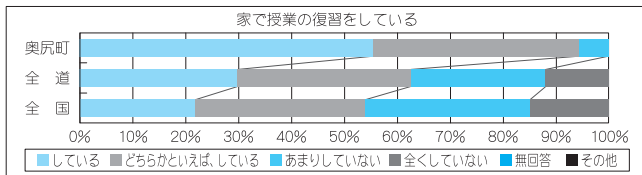
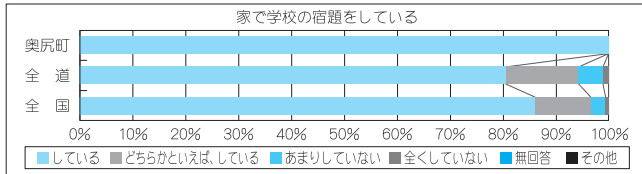


中学校

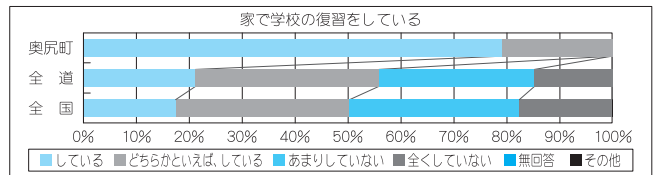
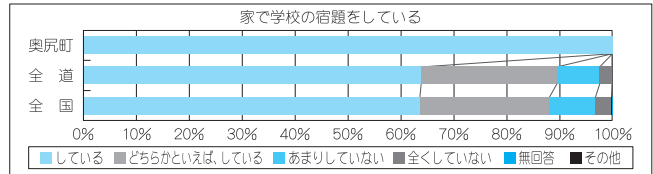
● H26奥尻町内中学校 ▲ H26北海道(公立) ✖ 全国(公立)



【児童質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科

○H26においては、国語A「読むこと」以外で全国平均を上回っている。

児童質問紙

- 全ての児童が、家で学校の宿題を行っている。
- 家で学校の授業の復習をしている児童の割合が全国・全道を上回っている。

学校質問紙

- 全ての学校において、全国学力・学習状況調査と独自の学力調査の結果を合わせて分析し、教科指導の改善等への反映をよく行っている。
- 全ての学校において、学力の状況についての職員間の共通理解がなされている。

〈まとめ〉

○各学校において、各種学力調査を踏まえた指導の改善など、全教職員の共通理解に基づく取組や、家庭と連携した学習習慣の定着に向けた取組を行ったことにより、基礎的・基本的な知識や技能及びそれらを活用する力が身に付いた。

【分析】

教科

○H26においては、国語A「話すこと・聞くこと」、数学A「図形」以外の領域で全国平均を上回っている。

生徒質問紙

- 全ての生徒が、家で学校の宿題を行っている。
- 全ての生徒が、「家で学校の授業の復習をしていますか」の質問に対し肯定的に回答している。

学校質問紙

○全ての学校において、保護者と連携して国語や数学の家庭学習を促す指導をしている。

〈まとめ〉

○各学校において、家庭と連携して家庭学習を促す取組を行ったことにより、生徒に学習習慣が定着した。

【奥尻町の学力向上策】

- ◎学校と家庭連携を深め、生活習慣のリズム化や家庭学習の定着化に努める。
- ◎指導法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を目指す。
- ◎放課後や長期休業中における補充的な学習サポートを充実し、基礎的・基本的な内容を定着させる。